

令和4年度 保護林モニタリング調査予定

令和4年度 保護林モニタリング調査予定箇所一覧表

保護林 番号	管轄署	保護林名	面積 (ha)	令和4年度 調査プロット数										下層植生 が 保護対象	備考
				森林生態系 多様性基礎調査			保護林モニタリング調査					合計			
				既存点 (直近 調査)	新規 追加点	計	調査 区分	既存点		多様性 基礎調査 に振替え	その他 見直し		調整 後		
				円形	方形										
10003	上川中部 上川南部 東大雪支	大雪山森林生態系保護地域	96,197	48		48	概況	14	26			40	88		
20008	上川中部	大雪原生林生物群集保護林	527	1	2	3	詳細	2				2	5	地帯区分の検討	
20009	上川中部	大雪山系高山帯生物群集保護林	1,340	1	2	3	詳細					0	3	地帯区分の検討	
20019	檜山	奥尻島生物群集保護林	2,285		2	2	概況	3				3	5	地帯区分の検討	
31101	上川中部	旭川チョウセンカラマツ遺伝資源希少個体群保護林	10				概況	2				2	2		
31102	上川中部	神居古潭カツラ等遺伝資源希少個体群保護林	14				概況	2				2	2		
31103	上川中部	中越ダケカンバ遺伝資源希少個体群保護林	55				概況	2				2	2		
31104	上川中部	大雪石狩エゾマツ遺伝資源希少個体群保護林	70				概況	2				2	2		
31105	上川中部	層雲峡シロエゾマツ遺伝資源希少個体群保護林	2				概況	2				2	2		
31106	上川中部	朗根内カンバ類遺伝資源希少個体群保護林	12				概況	4			-2	2	2	H30再編で2保護林を統合	
31107	上川中部	美瑛チョウセンヤマナラシ遺伝資源希少個体群保護林	4				概況	2				2	2		
31108	上川中部	美瑛カンバ類遺伝資源希少個体群保護林	23				概況	2				2	2		
31109	上川中部	旭川シウリザクラ等遺伝資源希少個体群保護林	41				詳細	2				2	2		
31110	上川中部	十勝岳泥流跡地植生希少個体群保護林	254	1		1	概況	2				2	3		
31201	上川南部	上富良野カンバ類遺伝資源希少個体群保護林	6				概況	2				2	2		
31202	上川南部	金山トドマツ等遺伝資源希少個体群保護林	11				概況	2				2	2		
31203	上川南部	金山幾寅ハリギリ等遺伝資源希少個体群保護林	6				詳細	2				2	2		
31301	網走西部	芭露カシワ遺伝資源希少個体群保護林	119				概況	3				3	3		
31302	網走西部	上丸瀬布ウダイカンバ遺伝資源希少個体群保護林	9				概況	2				2	2		
31303	網走西部	瀬戸瀬イヌエンジュ遺伝資源希少個体群保護林	21				概況	2				2	2		
31304	網走西部	生田原第2エゾマツ遺伝資源希少個体群保護林	9				概況	2				2	2		
31305	網走西部	武利アカエゾマツ遺伝資源希少個体群保護林	16				概況	2				2	2		
31306	網走西部	上丸瀬布シラカンバ遺伝資源希少個体群保護林	10				概況	2				2	2		
31401	西紋別支	滝西ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林	10				概況	2				2	2		
31402	西紋別支	北雄トドマツ遺伝資源希少個体群保護林	6				概況	2				2	2		
31901	十勝東部	喜登牛高山植物希少個体群保護林	185				詳細	2				2	2	高山植物 H30植生調査(N区・S区)	
31902	十勝東部	螺湾コオノオレ遺伝資源希少個体群保護林	8				概況	2				2	2		
31903	十勝東部	鳥取ヤチダモ遺伝資源希少個体群保護林	1				概況	2				2	2		
31904	十勝東部	本別モンゴリナラ遺伝資源希少個体群保護林	5				概況	2				2	2		
31905	十勝東部	本別アサダ遺伝資源希少個体群保護林	21				概況	2				2	2		
31906	十勝東部	芽登ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	9				概況	2				2	2		
31907	十勝東部	陸別イヌエンジュ遺伝資源希少個体群保護林	5				概況	2				2	2		
31908	十勝東部	斗満ハリギリ遺伝資源希少個体群保護林	9				概況	2				2	2		
32001	十勝西部	広尾ダケカンバ遺伝資源希少個体群保護林	4				概況	2				2	2		
32002	十勝西部	広尾ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	6				概況	2				2	2		
32003	十勝西部	広尾トドマツ遺伝資源希少個体群保護林	5				概況	3				2	2		
32004	十勝西部	広尾イタヤカエデ遺伝資源希少個体群保護林	9				概況	2				2	2		
32005	十勝西部	尾田第2ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	2				概況	2				2	2		
32006	十勝西部	尾田第1カシワ遺伝資源希少個体群保護林	5				概況	2				2	2		
32101	東大雪支	東ヌブカウシ山コマクサ希少個体群保護林	15				詳細	2				2	2	コマクサ H30植生調査(N区・S区)	
30111	石狩	天狗岳高山植物希少個体群保護林	177				植生	2	2			4	4	高山植物 R2植生調査(小円部、方形区)	
計			101,524	51	6	57		97	28	0	-3	122	179		

調査対象:41保護林

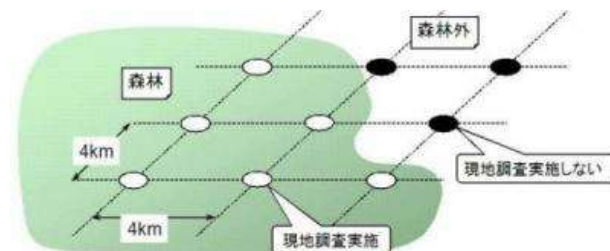
※ 森林生態系多様性基礎調査の既存点の直近調査:令和3年度、4年度

1. 森林生態系多様性基礎調査について

森林の状態とその変化の動向を全国統一した手法に基づき把握・評価することにより、森林計画における森林の整備に係る基本的な事項等を定めるのに必要な客観的資料を得ることを目的として、林野本庁により実施されている委託調査

調査方法

国土全域に4km間隔の格子点を想定し、その交点が森林に位置する箇所(約15,000箇所)を調査地点とする標本調査



調査期間

5年おきに調査地点の現地調査を実施

- ・第1期調査:平成11年～平成15年
 - ・第2期調査:平成16年～平成20年
 - ・第3期調査:平成21年～平成25年
 - ・第4期調査:平成26年～平成30年
 - ・第5期調査:令和元年(平成31年)～令和5年
- ※北海道内は、約3,000箇所を現地調査予定

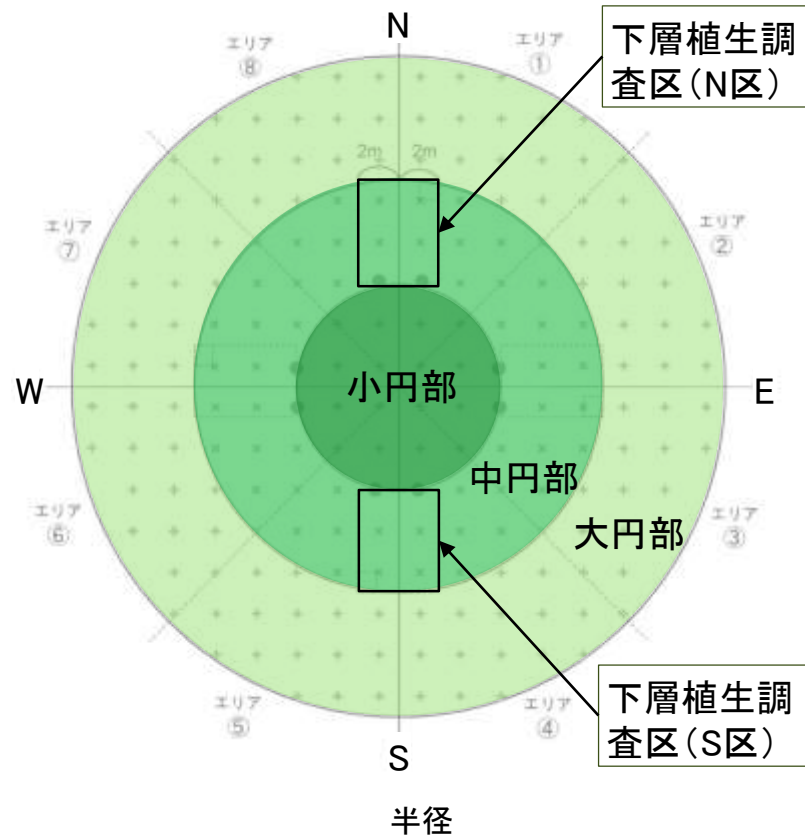
調査プロット

3つの異なる半径の同心円による円形プロット
(1箇所あたりの調査プロットの面積:0.10ha)

2. 森林生態系多様性基礎調査と保護林モニタリング調査の関係

調査項目	調査内容	森林生態系多様性基礎調査	保護林モニタリング森林詳細調査
調査プロットの位置等	緯度経度	○	○
地況調査	標高、方位、傾斜、表層地質、土壌型分類、局所地形、	○	○
	車道からの距離、集落からの距離、土壌侵食度	○	
林分等に関する特記事項	病虫獣害、気象害等その他の被害、その他	○	○
調査林分概況関連データ	土地利用区分、土地所有区分、法令に基づく地域指定、法令以外の地域指定、伐採方法の指定、森林簿上の林種、森林簿上の林種(細分)、森林簿上の樹種	○	
林分構成	優占樹種、林齢、林型、更新区分	○	○
施業履歴	施業の種類、施業履歴	○	
立木調査	樹種 (直径 1cm以上の立木)	○	○
	小円分: 1cm以上 胸高直径	○	○
	中円部: 5cm以上 樹高 (標準木20本以上)	○	○
	大円部: 18cm以上 状態 (枯損、剥皮、空洞、被害など)	○	○
伐根調査	伐根径	○	
倒木調査	中央径、長さ、原因、腐朽度	○	
下層植生調査	植被率 (低木層と草本層の比率)	○	○
	階層別優占種	○	○
	植物名	○	○

現地調査プロット見取り図



小円部	5.64m (0.01ha)
中円部	11.28m (0.03ha)
大円部	17.84m (0.06ha)
合計	0.10ha

現地調査の方法は、両調査とも同じ

森林生態系多様性基礎調査の現地調査項目には、保護林モニタリング調査(森林詳細調査)の現地調査項目が全て含まれる。

→ 保護林の調査結果と同様にデータの比較を行い、評価する。

3. 過年度委員会における検討結果

- (1) 森林の状態の変化については、森林生態系多様性基礎調査の結果からも把握が可能
- また、令和元年度から、森林生態系保護地域と生物群集保護林においては、森林生態系多様性基礎調査の調査点が既存の4km間隔の格子点に加えて、保護林内に新規の調査点が追加され調査が実施されている（追加箇所は次ページのとおり）
- このため、森林生態系多様性基礎調査の調査結果の活用を前提に、保護林モニタリングの調査プロットについては見直しを行う

令和4年度は、3保護林が該当

令和4年度は、該当なし

（例えば、森林生態系多様性基礎調査の調査点が保護林モニタリングの調査プロット箇所と同一の場合は、森林生態系多様性基礎調査としての調査のみ実施する）

- (2) 平成29年度の保護林再編に伴い、同一保護林内に多数の調査プロットが存する場合は、保護林の広さや環境の多様性も考慮しつつ、必要に応じて調査プロットの見直しを行う

令和4年度は、2保護林が該当

- (3) 同一保護林内で、保護林モニタリング調査の実施年度と多様性基礎調査の実施年度がずれている場合は、保護林モニタリング調査の実施年度の直近に実施された森林生態系多様性基礎調査のデータも用いて解析を行う

令和4年度は、5保護林が該当
((1)の3保護林を含む)

【北海道局】 森林生態系多様性基礎調査(第5期)追加調査点一覧

令和4年度 保護林モニタリング調査の対象

森林計画区	第5期調査 予定年度	保護林名	追加点数
石狩空知	2019	漁岳周辺森林生態系保護地域	2
宗谷	2019	知駒生物群集保護林	2
宗谷	2019	稚咲内生物群集保護林	2
宗谷	2019	クツチャロ湖生物群集保護林	2
宗谷	2019	利尻島生物群集保護林	2
石狩空知、後志胆振	2020	無意根山周辺生物群集保護林	3
釧路根室	2020	別寒辺牛生物群集保護林	3
釧路根室	2020	雄阿寒岳生物群集保護林	2
後志胆振	2021	大平山生物群集保護林	2
渡島檜山	2021	千軒岳生物群集保護林	2
渡島檜山	2021	鶉川生物群集保護林	2
渡島檜山	2021	椴川生物群集保護林	2

森林計画区	第5期調査 予定年度	保護林名	追加点数
石狩空知、上川南部	2022	夕張岳生物群集保護林	2
渡島檜山	2022	奥尻島生物群集保護林	2
上川南部	2022	大雪原生林生物群集保護林	2
上川南部	2022	大雪山系高山帯生物群集保護林	2
宗谷	2023	礼文島生物群集保護林	3
網走東部、釧路根室	2023	斜里岳生物群集保護林	4
網走東部、釧路根室	2023	海別岳生物群集保護林	4
釧路根室	2023	野付半島生物群集保護林	2
森林生態系保護地域 計			2
生物群集保護林 計			45
合 計			47

森林生態系多様性基礎調査（新規プロット）



- 既存の保護林モニタリング調査プロットが2点ある
- 既存の森林生態系多様性基礎調査プロットが1点ある
- 新規の森林生態系多様性基礎調査プロットが2点追加

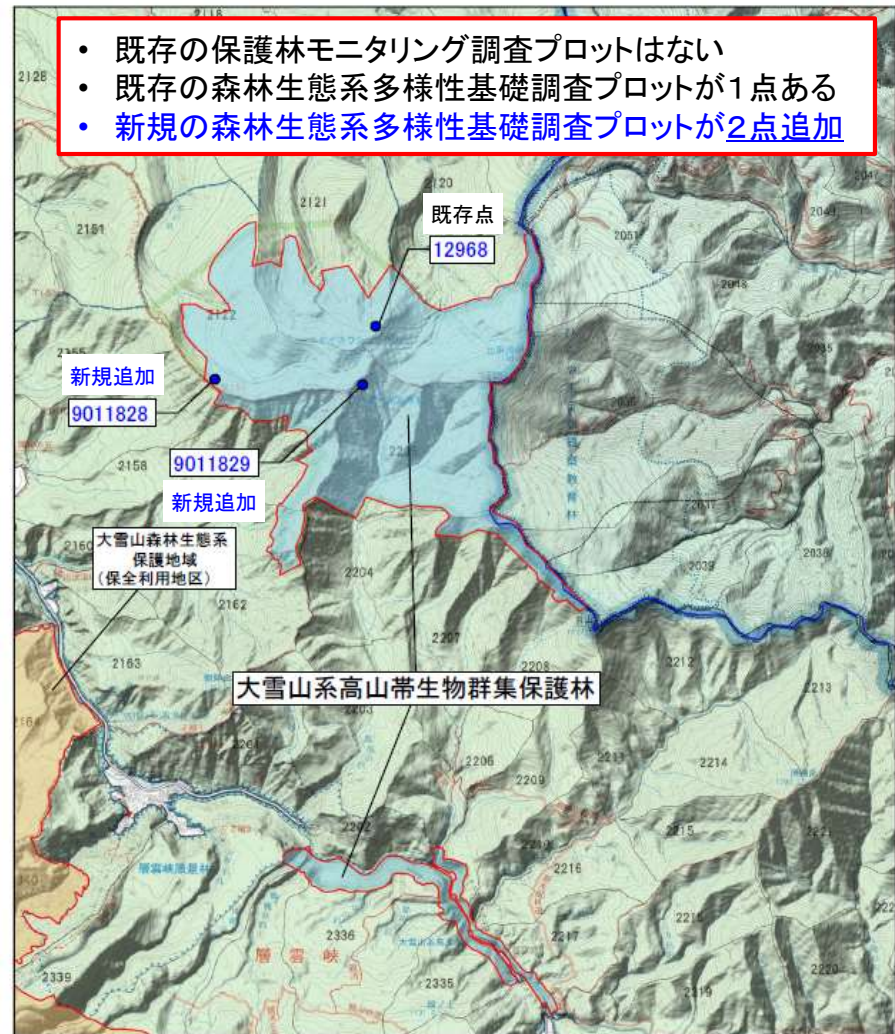
保護林位置図

保護林番号：20008
 保護林名称：大雪原生林生物群集保護林
 管轄：上川中部森林管理署
 林小班：2254い、2255いへ、2260いぬわか
 面積：526.69ha
 旧保護林名：大雪原生林保護林

凡例

行政区画	旧保護林(統合したもの)
主要河川	鳥獣保護区
湖沼	国有林
保護林モニタリング調査プロット	森林生態系多様性基礎調査プロット
保護林区分	
森林生態系保護地域	
生物群集保護林	
希少個体群保護林	
緑の回廊	

1:35,000



- 既存の保護林モニタリング調査プロットはない
- 既存の森林生態系多様性基礎調査プロットが1点ある
- 新規の森林生態系多様性基礎調査プロットが2点追加

保護林位置図

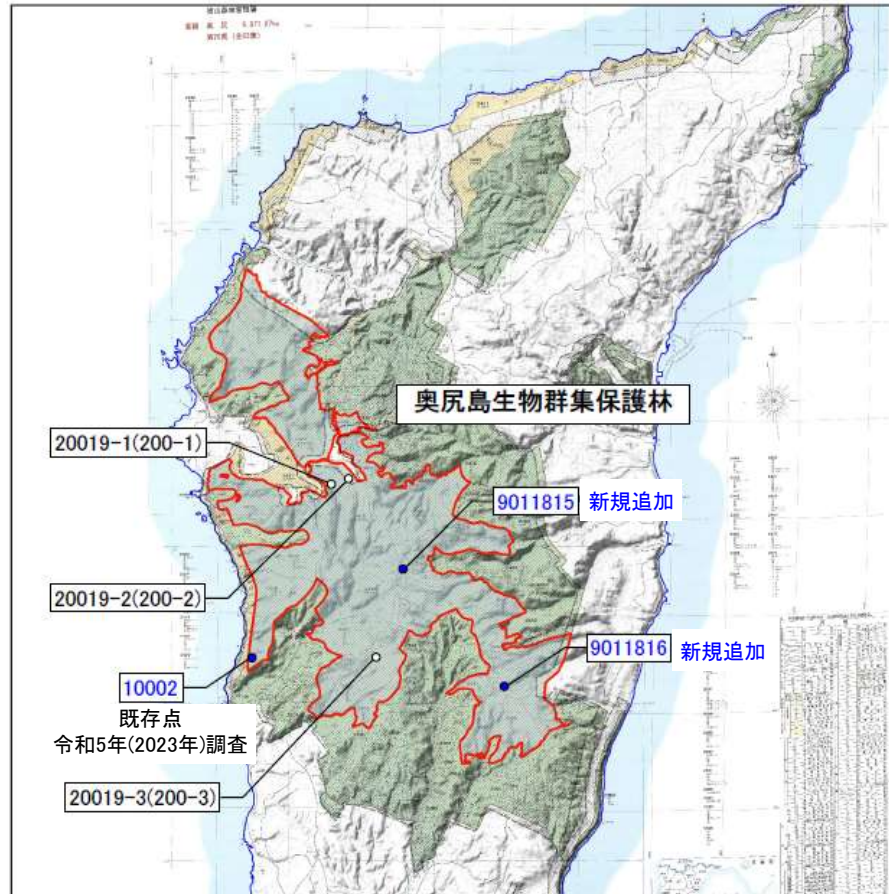
保護林番号：20009
 保護林名称：大雪山系高山帯生物群集保護林
 管轄管理署：上川中部森林管理署
 林小班：2120～2122、2158、2161、2162他
 面積：1,340.49 ha
 旧保護林名：大雪山系高山帯保護林

凡例

行政区画	鳥獣保護区
主要河川	国有林
湖沼	旧保護林(統合したもの)
森林生態系多様性基礎調査プロット	
保護林区分	
森林生態系保護地域	
生物群集保護林	
希少個体群保護林	
遺伝資源希少個体群保護林	
緑の回廊	

1:70,000

森林生態系多様性基礎調査（新規プロット）



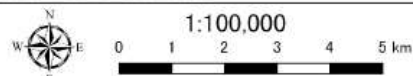
- 既存の保護林モニタリング調査プロットが3点ある
- 既存の森林生態系多様性基礎調査プロットが1点ある
- 新規の森林生態系多様性基礎調査プロットが2点追加

保護林位置図

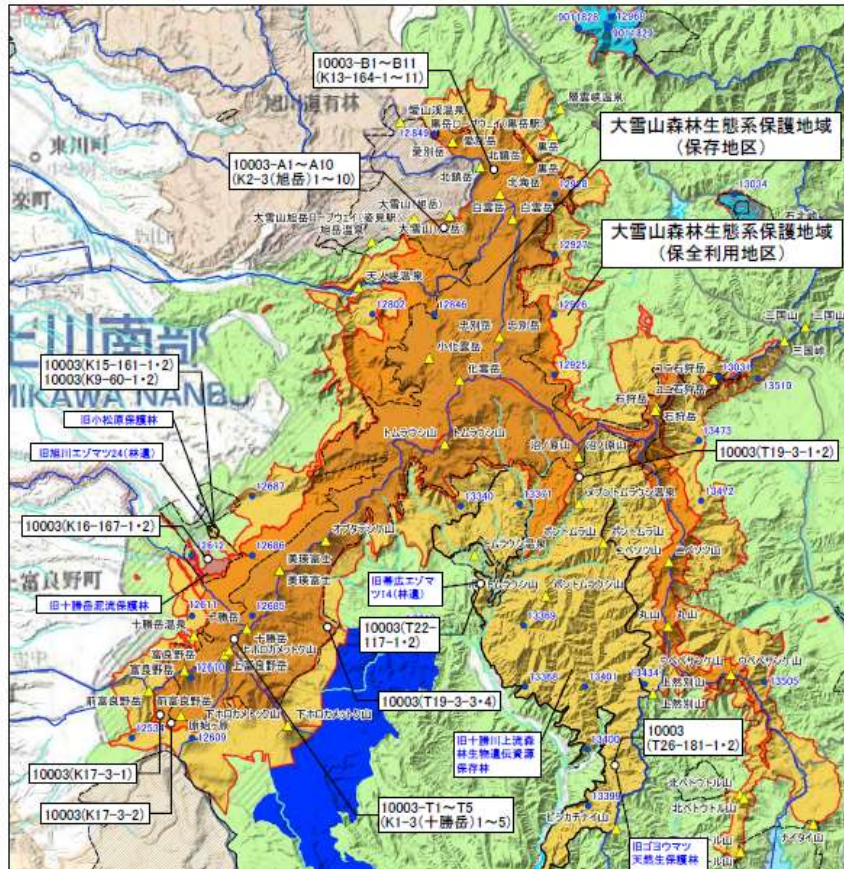
保護林番号：20019
 保護林名称：奥尻島生物群集保護林
 管轄署：檜山森林管理署
 林小班：2379ほ、2380へ、2386いほ、2387はほへい、2391と
 ハニ他(詳細:保護林の位置及び区域一覧のとおり)
 面積：2285.33ha
 旧保護林名：奥尻植物群落保護林

凡例

- | | |
|-----------------|------------------|
| 行政区画 | 旧保護林(統合したもの) |
| 主要河川 | 鳥獣保護区 |
| 湖沼 | 国有林 |
| 保護林モニタリング調査プロット | 森林生態系多様性基礎調査プロット |
- 保護林区分
- | |
|-----------|
| 森林生態系保護地域 |
| 生物群集保護林 |
| 希少個体群保護林 |
| 線の回廊 |



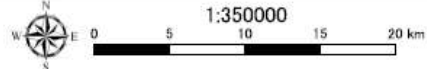
森林生態系多様性基礎調査（既存プロット）



- 既存の保護林モニタリング調査プロットが40点ある
- 既存の森林生態系多様性基礎調査プロットが50点ある
このうち、令和3年度、4年度調査は48点
(前回 調査実施27点、到達不可能21点)

保護林番号：10003
 保護林名称：大雪山森林生態系保護地域
 管轄署：上川中部、上川南部、東大雪山
 林小班：(詳細：保護林の位置及び区域一覧のとおり)
 面積：96,197.11 ha
 旧保護林名：大雪山森林生態系保護地域
 十勝川上流森林生物遺伝資源保存林
 ゴヨウマツ天然性保護林
 帯広エゾマツ14林木遺伝資源保存林
 小松原保護林
 旭川エゾマツ24林木遺伝資源保存林

- | | |
|------------------|--------------|
| 行政区画 | 旧保護林(統合したもの) |
| 主要河川 | 鳥獣保護区 |
| 湖沼 | 国有林野 |
| 保護林森林調査プロット | |
| 森林生態系多様性基礎調査プロット | |
- 保護林区分(地帯区分)
- 森林生態系保護地域保存地区
 - 森林生態系保護地域保全利用地区
 - 緑の回廊



- 既存の保護林モニタリング調査プロットが2点ある
- 既存の森林生態系多様性基礎調査プロットが1点ある

保護林位置図

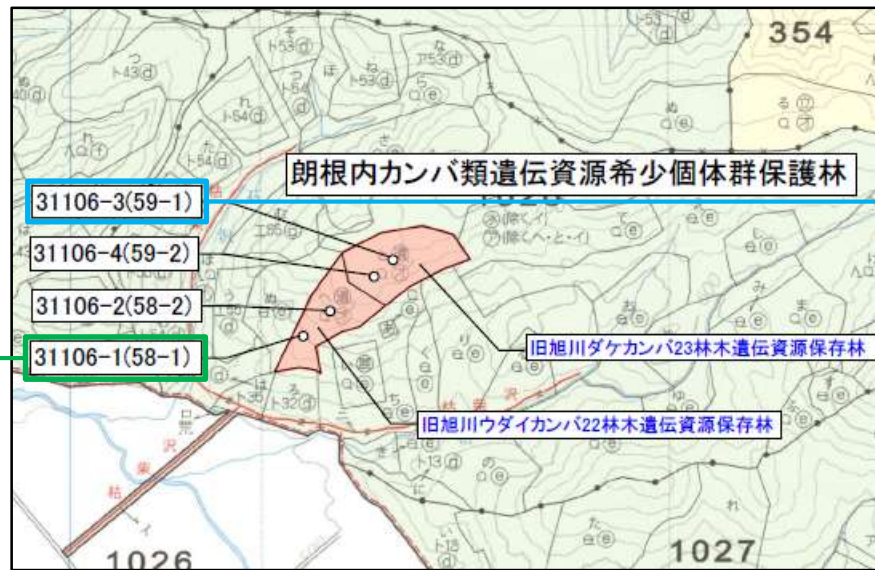
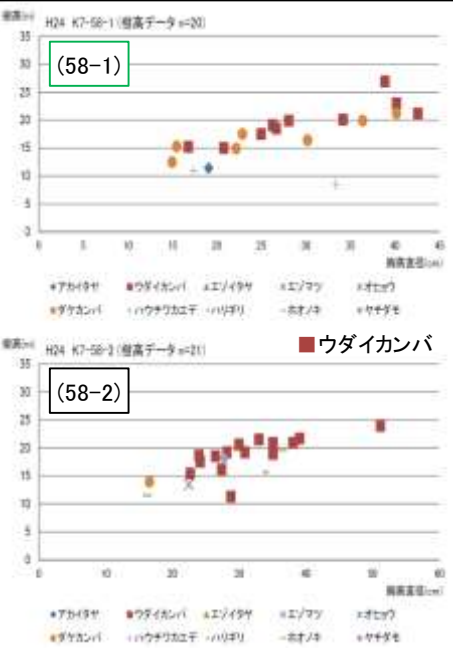
保護林番号：31110
 保護林名称：十勝岳泥流跡地植生希少個体群保護林
 管轄署：上川中部森林管理署
 林小班：1071いニホ、1072ほ～とたそい～ハク1
 面積：253.53 ha
 旧保護林名：十勝岳泥流保護林

凡例

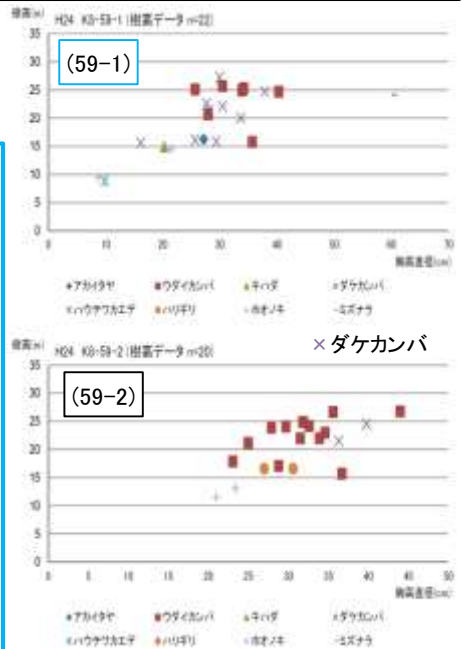
- 保護林区分(地帯区分)
- 森林生態系保護地域(保存地区)
 - 森林生態系保護地域(保全利用地区)
 - 希少個体群保護林
- 森林調査位置
- 保護林モニタリング調査
 - 森林生態系多様性基礎調査

朗根内カンバ類遺伝資源希少個体群保護林 (プロット見直し)

旧「旭川ウダイカンバ22林木遺伝資源保存林」



旧「旭川ダケカンバ23林木遺伝資源保存林」



- ・ H29年度の保護林再編で2つの保護林を統合
- ・ 保護対象のウダイカンバの生育本数が多いプロット(58-1)とダケカンバの生育本数が多いプロット(59-1)の2点を継続調査

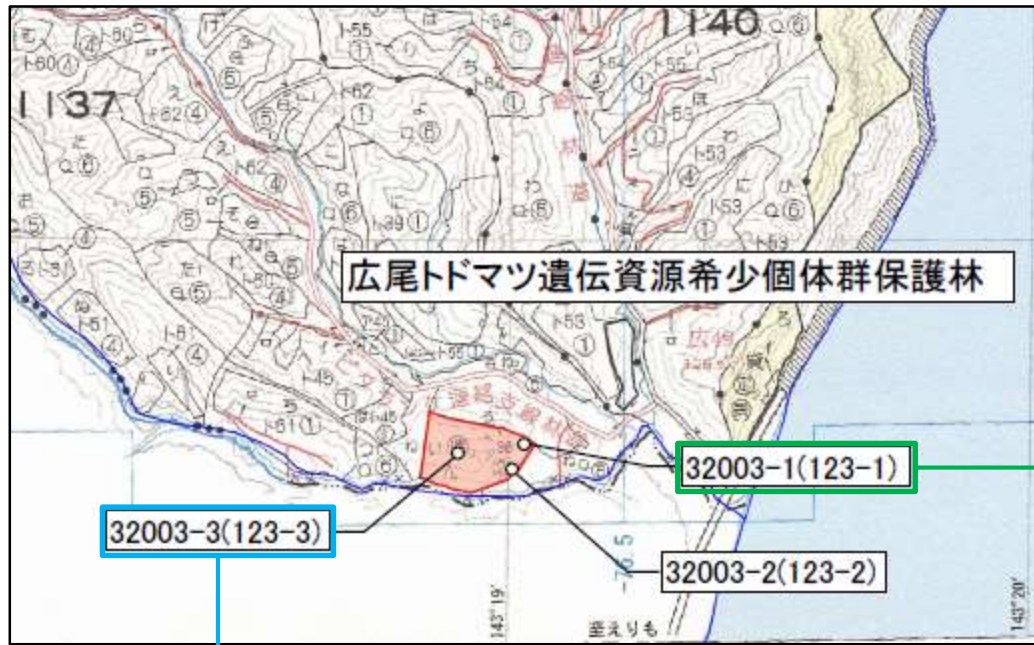
平成24年度調査データ

プロット	樹種名	保存対象種	生育本数		平均胸高直径	胸高断面積合計	
			(本)	(%)	(cm)	(cm ²)	(%)
(58-1)	トドマツ		1	1.8%	16.7	0.0	0.7%
	ドロノキ		1	1.8%	42.0	0.1	4.4%
	ダケカンバ		11	21.8%	27.1	0.8	23.9%
	ウダイカンバ	●	25	47.3%	28.8	1.8	56.8%
	ミズナラ		1	1.8%	17.6	0.0	0.8%
	ホオノキ		4	7.3%	15.4	0.1	2.4%
	ハウチワカエデ		6	10.9%	19.4	0.2	6.3%
	アカイタヤ		1	1.8%	19.1	0.0	0.9%
	シナノキ		1	1.8%	19.9	0.0	1.0%
	コシアブラ		1	1.8%	19.6	0.0	1.0%
	不明		1	1.8%	27.7	0.1	1.9%
計		53	100.0%	25.7	3.1	100.0%	
(58-2)	トドマツ		1	1.9%	14.6	0.0	0.6%
	エゾマツ		1	1.9%	22.5	0.0	1.3%
	ダケカンバ		7	13.0%	26.8	0.4	13.9%
	ウダイカンバ	●	22	40.7%	31.1	1.7	57.6%
	ホオノキ		15	27.8%	19.5	0.5	16.1%
	エゾイタヤ		2	3.7%	20.8	0.1	2.3%
	コシアブラ		2	3.7%	22.1	0.1	3.0%
	ハリギリ		1	1.9%	33.7	0.1	3.0%
	ヤチダモ		1	1.9%	27.8	0.1	2.0%
	不明		1	3.7%	10.0	0.0	0.3%
	計		51	100.0%	25.6	3.0	100.0%

平成24年度調査データ

プロット	樹種名	保存対象種	生育本数		平均胸高直径	胸高断面積合計	
			(本)	(%)	(cm)	(cm ²)	(%)
(59-1)	ダケカンバ	●	18	37.3%	29.3	1.4	42.0%
	ウダイカンバ		15	29.4%	30.9	1.2	36.0%
	ミズナラ		2	3.9%	42.7	0.3	10.3%
	ホオノキ		4	7.8%	15.2	0.1	2.5%
	キハダ		1	2.0%	20.3	0.0	1.0%
	ハウチワカエデ		5	9.8%	11.8	0.1	1.8%
	アカイタヤ		3	5.9%	26.8	0.2	5.3%
	不明		1	3.9%	15.7	0.0	1.2%
	総計		48	100.0%	26.6	3.3	100.0%
	(59-2)	ダケカンバ	●	6	13.3%	28.4	0.4
ウダイカンバ			24	60.0%	32.2	2.2	69.3%
ホオノキ			3	6.7%	20.2	0.1	3.1%
キハダ			2	4.4%	15.1	0.0	1.2%
ハウチワカエデ			1	2.2%	15.4	0.0	0.6%
エゾイタヤ			1	2.2%	26.2	0.1	1.7%
ハリギリ			4	8.9%	30.4	0.3	9.3%
不明		1	2.2%	29.5	0.1	2.1%	
総計		41	100.0%	29.4	3.2	100.0%	

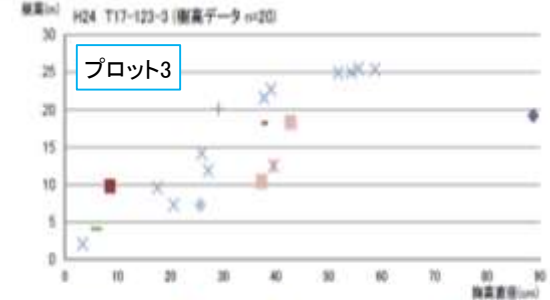
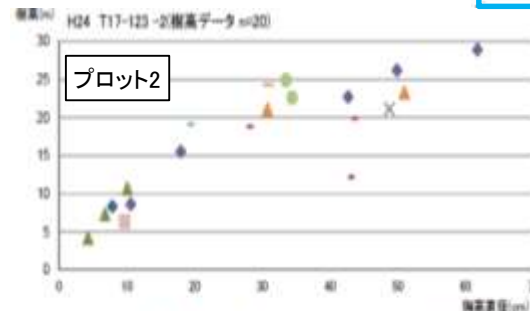
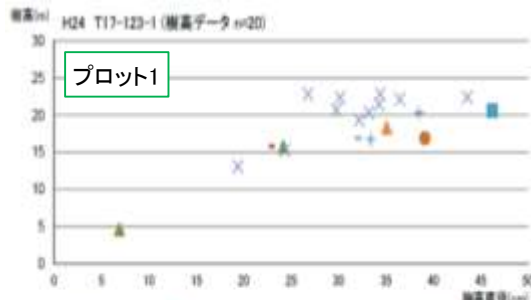
広尾トドマツ遺伝資源希少個体群保護林 (プロット見直し)



- 河畔側のプロット2ではヤチダモが優占、保護対象のトドマツはない。プロット2では林床が湿性化したトドマツの実生は少ない。
- 保護対象のトドマツの生育本数が多いプロット1とプロット3の2点を継続調査

平成24年度調査データ

プロット	樹種名	保存対象種	生育本数		平均胸高直径	胸高断面積合計	
			(本)	(%)	(cm)	(cm ²)	(%)
プロット1	トドマツ	●	30	56.0%	26.8	1.9	48.8%
	オニグルミ		2	3.8%	33.1	0.2	4.6%
	ダケカンバ		1	1.9%	35.1	0.1	2.5%
	シラカンバ		2	3.8%	46.5	0.3	8.9%
	ハルニレ		1	1.9%	18.3	0.0	0.7%
	キタコブシ		3	5.7%	36.1	0.3	8.0%
	キハダ		2	3.8%	23.8	0.1	2.3%
	エゾイタヤ		8	15.1%	22.7	0.4	9.9%
	ミズキ		2	3.8%	30.3	0.1	3.6%
	ヤチダモ		1	1.9%	20.0	0.0	0.8%
	不明		1	1.9%	68.9	0.4	9.7%
計			52	100.0%	28.3	3.8	100.0%
プロット2	ダケカンバ		3	5.5%	39.9	0.4	10.4%
	ハルニレ		9	16.4%	31.4	0.7	19.5%
	エゾヤマザクラ		1	1.8%	48.8	0.2	5.0%
	アズキナシ		1	1.8%	7.1	0.0	0.3%
	キハダ		5	9.1%	30.7	0.4	11.0%
	エゾイタヤ		8	14.5%	8.1	0.1	2.0%
	ヤマモミジ		3	5.5%	18.1	0.1	2.5%
	シナノキ		10	18.2%	35.1	1.2	31.9%
	ミズキ		3	5.5%	24.7	0.1	3.9%
	アオダモ		2	3.6%	13.4	0.0	0.9%
	ヤチダモ		4	7.3%	29.7	0.3	7.4%
ハシドイ		1	1.8%	10.5	0.0	0.2%	
不明				9.1	0.2	5.1%	
計			50	100.0%	25.7	3.8	100.0%
プロット3	トドマツ	●	13	43.3%	34.1	1.5	41.5%
	ウダイカンバ		2	6.7%	8.3	0.0	0.3%
	ヤマグワ		1	3.3%	25.7	0.1	1.4%
	ホオノキ		1	3.3%	29.1	0.1	1.8%
	キハダ		1	3.3%	37.4	0.1	2.9%
	ヤマモミジ		2	6.7%	40.1	0.3	6.8%
	シナノキ		1	3.3%	88.8	0.6	16.6%
	ハリギリ		1	3.3%	39.6	0.1	3.3%
	アオダモ		1	3.3%	20.4	0.0	0.9%
	クサギ		2	6.7%	5.4	0.0	0.1%
	不明				16.7%	0.9	24.3%
計			25	100.0%	34.2	3.7	100.0%



×トドマツ